

東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号（第5号）のトピックス

- ・ 48週(11月29日～12月5日)のインフルエンザ患者報告数は 219人、
 定点当たり 0.76人 （昨年同期 定点当たり 21.06人）
- ・ インフルエンザ様疾患による学級閉鎖は10件
- ・ 北海道をはじめとする11道県でインフルエンザ定点当たり患者報告数1人を超える

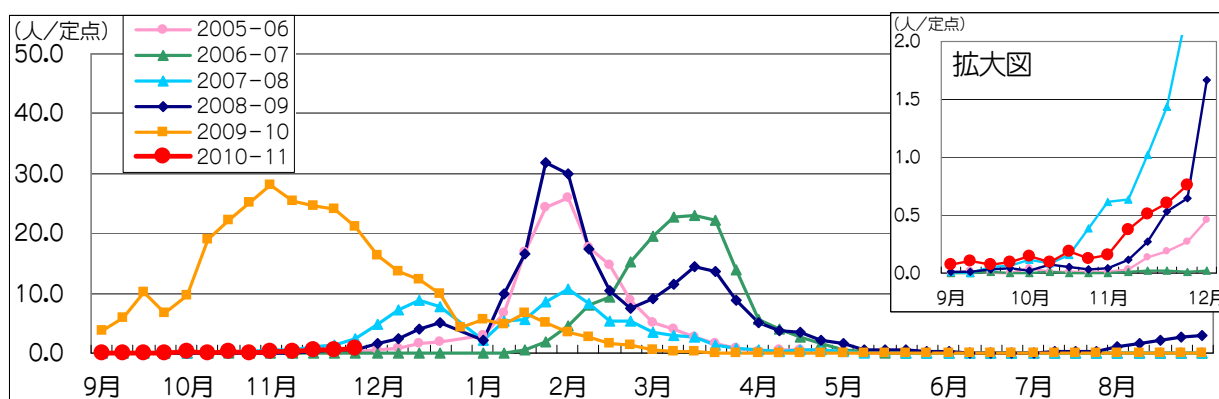


図1. インフルエンザ定点*当たり患者報告数の推移（東京都）

1 インフルエンザ患者発生状況

第48週（11月29日～12月5日）

【東京都】インフルエンザ定点からの患者報告数は219人、定点当たり0.76人と47週（0.60人/定点）から微増しました（昨年同期21.06人/定点）（図1）。品川区(3.60人/定点)、島しょ(2.50人/定点)、北区(2.00人/定点)、台東(1.60人/定点)、墨田区(1.50人/定点)、荒川区(1.50人/定点)、杉並(1.00人/定点)、西多摩(1.00人/定点)、多摩小平(1.00人/定点)の9保健所管内で流行の目安となる定点当たりの患者報告数1人を超えています。

【全国】患者報告数は3,333人、定点当たり0.70人です。全国も47週(0.44人/定点)から微増しています。北海道(3.82人/定点)、

佐賀(2.41人/定点)、長崎(2.00人/定点)をはじめとする11道県で定点当たりの報告数が1人を超えています。

2 インフルエンザ集団感染等発生状況

48週にインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等及び集団事例が10件（内訳：幼稚園・保育園2、小学校7、中学校1）報告されました。

また、47週にインフルエンザと診断され重症化した患者が1名報告されましたが、その患者からはインフルエンザウイルスは検出されませんでした。

3 東京都の検査情報

感染症発生動向調査事業により定点医療機関から当センターに搬入された検体から、47週に新型インフルエンザウイルス(AH1pdm)が1件、AH3亜型(A香港型)が3件検出されました。48週にはAH1pdmが1件、AH3亜型が5件出されました（表1、図2）。

*:インフルエンザ定点
インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点150か所を含む290か所（全国約5,000か所）の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

また、学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体の検査では、47週にAH3亜型が2件、48週にAH1pdmが1件、AH3亜型が8件検出されました（図3）。

45週から48週（11月8日～12月5日）までのインフルエンザウイルス検出状況を型別地域別にみると、5保健所管内からAH1pdm、15保健所管内からAH3亜型、2保健所管内から

B型が報告されています（図4）。また、型別検出割合ではAH3亜型が80%と最も多くなっています（図5）。

国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報（IASR）等によると、12月9日までに、28都府県からAH1pdm、36都道府県からAH3亜型、10都府県からB型が報告されています。

表1. 定点医療機関から搬入された検体の検査結果

週	検体数	陽性数	インフルエンザウイルス			
			AH1	AH3	B	AH1pdm
36-44週(9/6-11/7)	173	16	0	12	1	3
45週(11/8-14)	34	10	0	8	0	2
46週(11/15-21)	26	6	0	3	2	1
47週(11/22-28)	28	4	0	3	0	1
48週(11/29-12/5)	38	6	0	5	0	1
合計			0	31	3	8

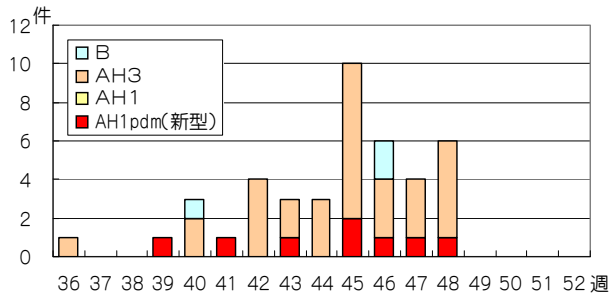


図2. インフルエンザウイルス検出数
(定点医療機関から搬入された検体)

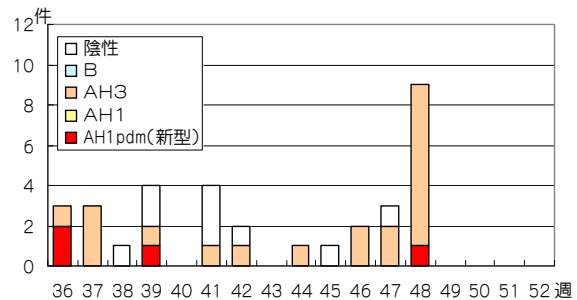


図3. インフルエンザウイルス検出数
(学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体)

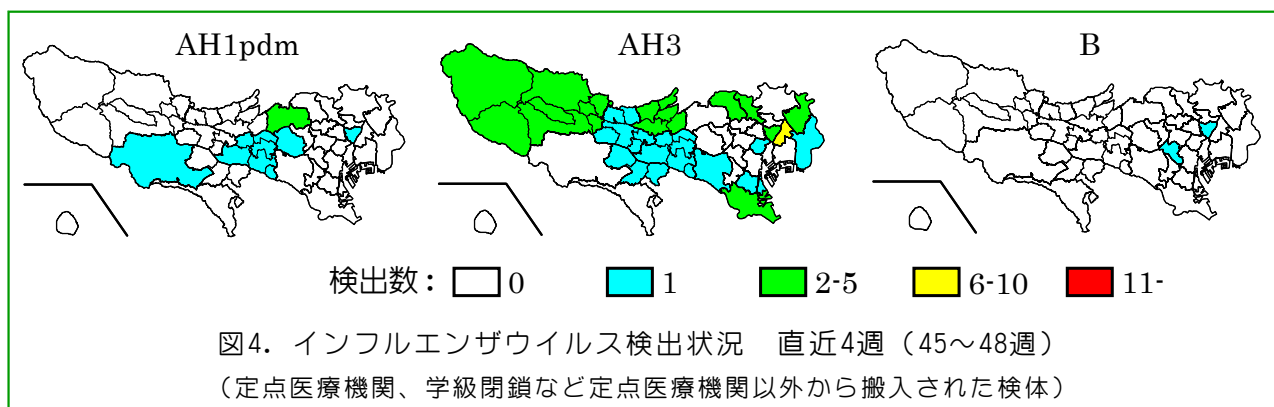


図4. インフルエンザウイルス検出状況 直近4週（45～48週）
(定点医療機関、学級閉鎖など定点医療機関以外から搬入された検体)

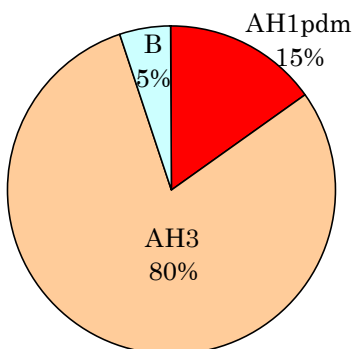


図5. 型別検出割合
直近4週
(45～48週、
検体39件)

◆ 東京都インフルエンザ情報 ◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター

微生物部疫学情報室

〒169-0073

東京都新宿区百人町3-24-1

TEL: 03-3363-3213

FAX: 03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/